

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～
	施策	24 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー
重点プロジェクト	美しく活気ある暮らしやすいまちプロジェクト	
総合戦略		
主管課	都市政策部 道路課	評価責任者 山風呂 敏 評価日 令和7年6月2日
関連課	危機管理防災課、都市計画課	
目標	広域交通、市内交通の円滑化や災害時の安全性の確保を目指し、幹線道路や身近な生活道路の整備を計画的に進めます。	
施策目標の実現に向けた取組	(1) 道路交通体系の充実 ○安全で快適な道路環境の確保に向け、広域幹線道路の整備においては国や県、埼玉県警察、関係市町に積極的に働きかけます。また、市内幹線道路を計画的に整備します。 ○日常生活の利便性や安全性の向上を図るため、生活道路における道路改良を進めるとともに、緊急車両の活動に支障がなく、災害時に迅速に避難できるよう計画的に整備します。	

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	幹線道路整備延長（累計）						
		説明	市内をはしる幹線道路の延長、安全で快適な道路整備を行う指標						
		単位	m						
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	14,230	14,325	14,420	14,515	14,610	14,660	14,710
		実績値	14,060						
	指標2	指標名	狭あい道路対策延長（累計）						
		説明	市内の狭あい道路の対策延長、日常生活の利便性・安全性の向上を図る指標						
		単位	m						
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	2,274	2,330	2,386	2,442	2,498	2,518	2,538
		実績値	2,218						
	指標3	指標名							
		説明							
		単位							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標4	指標名							
		説明							
		単位							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標5	指標名							
		説明							
		単位							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	430,813	0	0	0	0	0	0
	人件費	115,283	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	160,202	0	0	0	0	0	0
	一般財源	385,894	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	幹線道路整備事業	安全で快適な幹線道路を整備する事業として、幹線道路用地を取得し道路整備を行うため、課題や業務内容を整理し計画策定を行った。	幹線5号線の沿道地権者の意向を踏まえ、課題点を抽出し令和7年度から用地取得を行うため業務計画を策定した。	道路橋りょう新設改良事業
取組②	狭あい道路対策事業	ふじみ野市道の狭あい対策事業として、歩道整備や待避場所の整備を行うため、用地取得などを実施した。	市道E-177号線の沿道地権者と用地交渉を行い1件(共有地)の用地を取得した。市道F-55号線(通称八軒家交差点)の沿道地権者3件全ての用地取得を完了した。	道路橋りょう新設改良事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	市道E-177号線の歩道整備については、沿道地権者との交渉の結果、道路用地(共有地)1件の取得及び建物等補償調査業務を実施したが、今後このほかの対象地権者についても土地売買契約成立のための合意形成を計画的に進めていく必要がある。 市道F-55号線(通称 八軒家交差点)の拡幅整備については、令和6年度に3件全ての用地取得を完了することができたため、令和7年度の道路工事实施設計業務を円滑に進める必要がある。また、埼玉県が施行する県道さいたまふじみ野所沢線(56号線)の拡幅整備事業に合わせ、埼玉県(川越県土整備事務所)、三芳町と連携して、事業スケジュール等の調整を行う必要がある。 幹線5号線については、歩行者が安全安心に通行できる歩道を整備するため、沿道地権者との合意形成を図り、計画的に道路用地を取得していく必要がある。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	